

アンジュ・ミケーレ 「空円」

2024年3月9日(土) - 4月6日(土)



神秘の世界へ

真実を探しに

エリュシオンの入り口

2024年1月 アンジュ・ミケーレ

例えば空から舞い落ちる綿毛や、木々に反射した光が織りなす陰影を、私たちは美しいと感じる。アンジュの作品も、形容し難い形態と色彩をもって、ふと私たちの目の前に存在する。キャンバスが用意されるや否や一気呵成で描かれる図象に画家の恣意的な痕跡は見当たらない。しかしそこには画家の意識と身体が確かに介在している。そのように絵画を生成させる才能は稀有である。そうして謎に包まれたイメージの数々は、言語の世界から私たちの心を解き放ち、自由になることを可能にしてくれる。

今展では金色の支持体や雲肌麻紙に描かれた新しい「空円」の世界を発表する。ぜひご期待ください。

2024年1月 シュウゴアーツ



アンジュ・ミケーレ 《circular skies》2021年, acrylic on Japanese paper mounted on panel, 220x110cm

アンジュ・ミケーレ 「空円」

会期：2024年3月9日（土） - 4月6日（土）

会場：シュウゴアーツ

開廊時間：火～土曜 11:00 - 18:00（日月祝休廊）

担当：石井美奈子

アンジュ・ミケーレ

1989年ヴェネツィア生まれ、京都在住。海や山、星、月、植物、動物、鉱物といった自然のエレメントをモチーフに平面作品を手がける。「聴覚障害という身体と自意識のシェルターに護られた精神を抛り所に」（住吉智恵）現実世界を凝視し、自身の内なるイメージに変換してためらいなく描かれる絵画は、作家の心身と渾然一体となった作品として日々弛まらずに作り出されている。近年京都・西陣織の銀糸の材料となるアルミ紙を支持体にして独自の絵画表現を展開している。

主な展覧会歴に「イマジナリウム」シュウゴアーツ（2020）、VOCA2020 上野の森美術館（2020）、「ヨコハマトリエンナーレ」横浜美術館（2014）、「自由について」TRAUMARIS（東京、2011）、「愛の過現未」HIGURE17-15cas（東京、2009）、「Infanzia」CUBE GALLERY（ヴェネツィア、2005）など。

シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木6丁目5番24号 complex665 2F / 03-6447-2234
プレスに関するお問い合わせ：藤田 galleries@shugoarts.com

◆シュウゴアーツ アーティスト情報はこちらをご覧ください：<https://shugoarts.com/topics/>

Top image: アンジュ・ミケーレ 《portal》2024年, oil on gold-colored paper mounted on panel, 154x120cm